

大洲病院ニュース

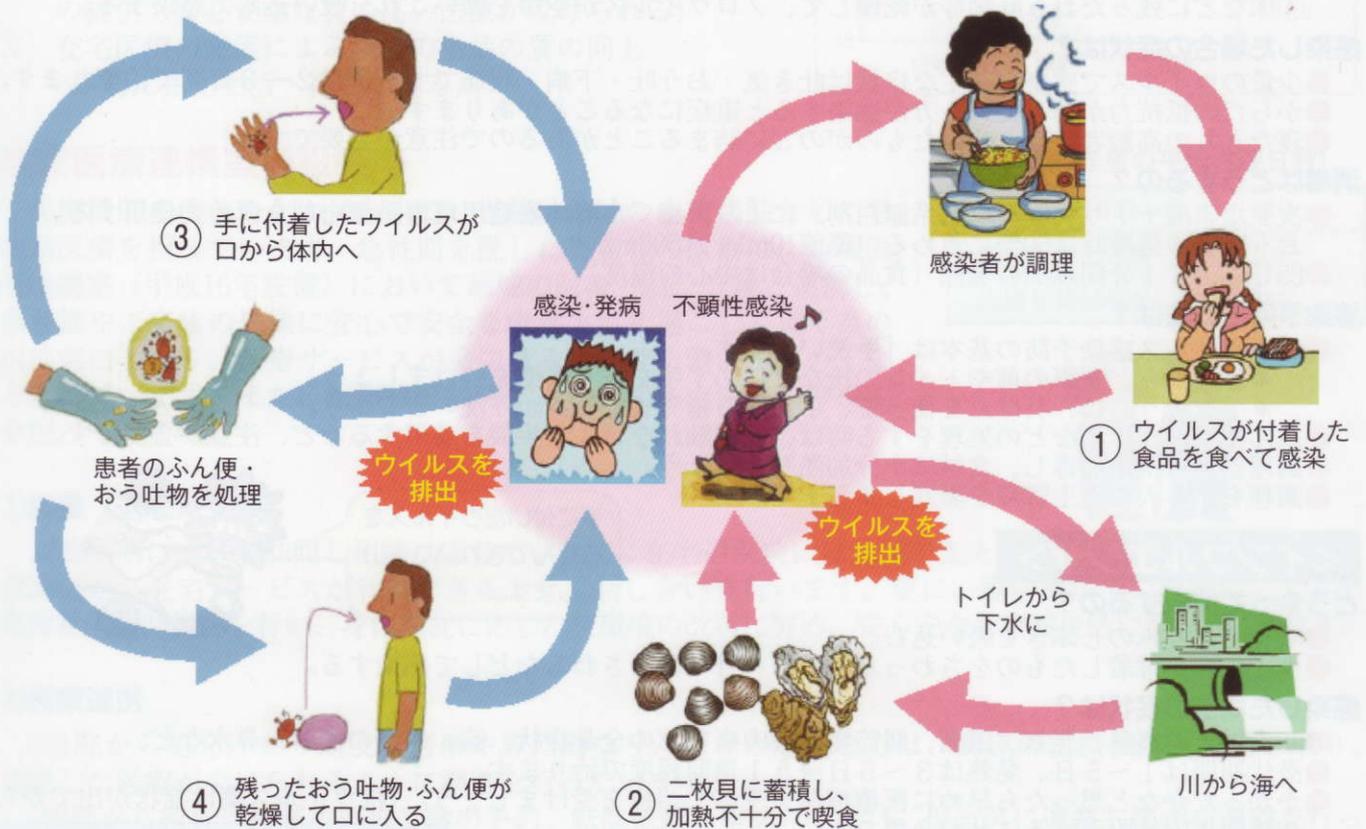
OZU CITY HOSPITAL NEWS

発行：市立大洲病院
編集：市立大洲病院
広報委員会

〒795-8501
大洲市西大洲甲570番地
TEL0893-24-2151
FAX0893-24-0036

これからの季節…

インフルエンザやノロウイルスの感染に注意しましょう！



ノロウイルスの感染サイクル

市立大洲病院の理念

患者様に信頼される良質で安全・安心な医療を提供し、地域社会に貢献します。

〈第12号の主な内容〉

- インフルエンザとノロウイルスについて …… 2 P
- 診療体制のお知らせ …………… 4 P
- 《地域医療連携室》お気軽にご相談ください! … 3 P
- 「愛たい菜」での健康相談会のご案内 … 4 P

インフルエンザとノロウイルスについて



<ノロウイルス>

アルコール消毒薬を玄関ロビーや病棟入り口に置いてあります。使ってね。

どうやって感染するの？

- ノロウイルスは口から取り込まれ、人の腸管で増えます。口から取り込まれる原因は、1面に掲載の感染サイクル図①～④のとおり、次の4つの経路に分類されます。
- ①ノロウイルスが手につきやすい状況の人（たとえば感染している人や看病している人など）が、きれいに手を洗わずに調理すると、食品が汚染され、その料理を食べた人が感染する。
- ②ウイルスに汚染された二枚貝（カキ）などを生あるいは十分に加熱調理しないで食べ感染する。
- ③ノロウイルスを含むふん便やおう吐物を処理した際などに、手についたウイルスが口から取り込まれて感染する。
- ④床などに残ったおう吐物等が乾燥して、ノロウイルスが空中を漂いこれを吸い込んで感染する。

感染した場合の症状は？

- 少量のウイルスで感染し、主な症状は吐き気・おう吐・下痢・腹痛です。通常2～3日間で治癒します。
- からだの抵抗力が弱っている方が感染すると重症になることがあります。
- 寝たきりの高齢者では、吐いたものがのどに詰まることがあるので注意が必要です。

消毒はどうするの？

- 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）による消毒：市販の家庭用塩素系漂白剤を薄めて使用する。おう吐物の処理時は50倍に薄める（原液10ml+水500ml）
- 85℃以上で1分間以上の加熱（食品の場合は中心の温度）

感染予防の方法は？

- ノロウイルス感染予防の基本は「手洗い」です。
 - *日頃から、食事の前やトイレの後などに必ず手を洗う習慣をつけましょう。
 - *手を洗う時は、石けんを使って、手首から指先までしっかり洗いましょう。
- ふん便やおう吐物などの処理をする時は、直接触れないよう手袋を着用するなど、注意が必要です。
- 調理器具は洗浄消毒し、食材は十分加熱しましょう。
- 調理をする人の衛生管理を徹底しましょう。

手に付いたウイルスを石けんできれいに洗い流します。



<インフルエンザ>

どうやって感染するの？

- 咳やくしゃみのしぶきを吸い込む。
- ウイルスが付着したものをさわった手で口・目・鼻をさわるなどして感染する。

感染した場合の症状は？

- 38度以上の高熱、悪寒、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状、咳、のどの痛み、鼻水など。
- 潜伏期間は1～5日。発熱は3～5日続き1週間程度で治ります。
- かかったかなと思ったら早めに医療機関を受診し治療を受けましょう。（抗ウイルス薬は症状が出てから48時間以内に服薬することが必要です。）
- 子供・高齢者・持病を持つ方は重症化することがあります。

消毒はどうするの？

- アルコール消毒剤が有効です。

感染予防の方法は？

- 外出から帰宅後は、必ず、手洗い・うがいをしましょう。
- 人ごみを避けましょう。人ごみに出るときはマスクをしましょう。
- 規則正しい生活で体調を整え、体力や抵抗力を高めましょう。
- 流行期に入る前にワクチン接種を済ませましょう。

咳エチケット



(×)



(○)

マスクがない時は口元をティッシュなどで覆います。

院内感染対策委員会からのお願い

当院では感染拡大を防ぐため、流行時期には次のような対応をとらせていただきますのでご協力ください。

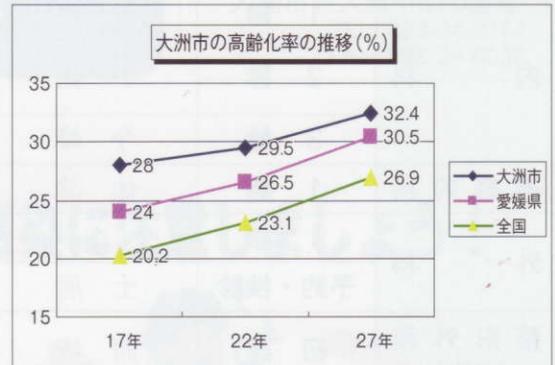
- ★来院される皆様は咳エチケットを守りましょう。（マスクは自動販売機をご利用ください。）
- ★入院患者様への感染を防ぐため、一定の期間、ご面会をお断りすることがあります。
- ★インフルエンザ疑いの患者様は、発熱外来での診療になる場合があります。
- ★熱・咳・嘔吐・下痢などの症状がある患者様は早めに職員にお申し出ください。

《地域医療連携室》お気軽にご相談ください！

日本の人口は、少子化に伴い急速な高齢化が進行しています。大洲市においても平成22年度の高齢化率は29.5%で5年後には32.4%になると予測されています。

このため国は平成18年に次のような医療提供体制を確保する考え方を示しました。

- 1) 医療情報による適切な医療の選択の支援
(医療情報が十分に得られる)
- 2) 医療機能の分化・連携の推進による切れ目のない医療の提供
(安心安全な質の高い医療が受けられる)
- 3) 在宅医療の充実による患者の生活の質の向上
(早期に在宅生活へ復帰できる)



地域医療連携室の役割等

医療機関の機能分化が進む中で、当院は地域の中核病院として急性期医療を担っています。急性期を脱した患者様の医療は、地域医療連携室(平成16年設置)において地域の医療・福祉・介護と連携し、患者様やご家族の皆様が安心して安全な療養生活を過ごして頂く為の相談窓口となり、医療サービスが途切れることなく繋がっていくよう努めています。また、医療福祉に関するなんでも相談窓口の役割を担っています。

(平成22年度の平均在院日数)

平均在院日数	18日
脳 梗 塞	19日
大腿骨頸部骨折	33日



①療養(退院)支援

入院早期に病室を訪問し相談に応じています。在宅退院前には地域で支えて頂く方々に集まって頂き、退院後から在宅サービスが利用できるように話し合いを行います。更に、理学療法士、看護師による退院前在宅訪問指導を行い、身体機能に応じた住環境の改善に努め、安心安全な療養生活につなげています。

②医療連携

〈当院から紹介〉より高度な医療や専門的なりハビリが必要な方は、関連の医療機関と連絡を取り、継続した医療が受けられるように調整を行っています。

〈他院から紹介〉検査や外来受診の予約、転院依頼の申込みを受け、担当医に連絡し細かな調整を行っています。

③患者相談(医療福祉相談)

病気などによって生じる様々な生活課題について、入院・外来患者様やご家族の相談に応じています。



1. 入院費や生活費など経済的な心配がある
2. 介護保険や身体障害者手帳などの社会福祉制度について知りたい
3. 退院後の療養生活に不安や心配がある
4. どこに相談したら良いか分からない。等

地域医療連携室には、専従の療養(退院)支援看護師1名、ソーシャルワーカー1名、事務職員1名がおります。ご相談内容についての秘密は、お守りします。レントゲン室前の小さな部屋ですが、いつでもお気軽にご相談ください。

地域医療連携室 向居 福見

診療体制のお知らせ

診療科/曜日		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	1 診	谷 口	谷 口	谷 口	谷 口	谷 口
	2 診	中 西	中 西	徳本(肝臓外来) (第2,第4)	中 西	
	3 診	今 峰		今 峰	小 幡	今 峰
神経内科	1 診	休 診	休 診	休 診	岩城(月2回)	休 診
外科	1 診	李	李	土 居	李	土 居
	予約・検診	土 居	土 居	李	土 居	李
整形外科 <small>※初診は、 午前10時30分から 診療開始</small>	初 診	間 崎	田口(偶数週) 間崎(奇数週)	田 口	間 崎	田 口
	再 診	田 口		間 崎	田 口	間 崎
泌尿器科 <small>※6</small>	1 診	佐藤武	佐藤武	佐藤武	佐藤武	佐藤武
	2 診	佐藤秀	佐藤秀	佐藤秀	小 田	佐藤秀
眼科 <small>受付午前10時30分まで</small>	1 診	休 診	愛大医師	休 診	休 診	愛大医師
耳鼻咽喉科	1 診	田 口	休 診	富 所	休 診	岡 田
皮膚科	1 診	休 診	佐 山	休 診	小 田	花 川

- ※1 診療受付時間は、午前8時15分から午前11時30分までです。
- ※2 緊急手術等により受付時間を繰り上げる場合があります。
- ※3 休診日は、土曜、日曜、祝日および年末年始です。
- ※4 担当医師の変更、休診の場合がありますので、事前に電話でお問い合わせください。
- ※5 整形外科の毎月第二火曜日は、愛媛大学 三浦教授による膝専門外来があります。
- ※6 泌尿器科の診療は透析・入院患者様対応のため、1診は9時45分、2診は10時45分からの診療開始となります。
市立大洲病院 ☎0893-24-2151

「11月14日は世界糖尿病デー」

「愛たい菜」での健康相談会のご案内

最近、お腹周りが気になってきたお父さん！食欲の秋を言い訳にするお母さん！健康診断にひっかかっても、私は大丈夫と思っている方はいませんか？八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会の医療スタッフが、健康相談会を行います。お気軽にご参加ください。

記

日 時：平成23年11月13日(日) 午前10時頃～午後1時頃

場 所：JA愛媛たいき産直市「愛たい菜」(東大洲)

テーマ：健康相談～今日からできる生活習慣改善

(糖尿病を中心として)～

対 象：地域住民の皆様

主 催：八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会(医師・看護師・薬剤師・栄養師・検査技師・理学療法士等で構成)

内 容：日常生活相談(体重測定・血圧測定・血糖測定・BMI・標準体重計算)アンケートの実施

栄養療法・運動療法がわからない、お薬の相談など、医療スタッフがやさしくお答えします。どうぞ足をお運びください。お待ちしております。



編 集 後 記

当院でも今季すでにインフルエンザウイルスが検出されています。ノロウイルスも例年、11月に入ると一気に増えてきます。暑い時期はユッケ、寒くなるとカキ…私たちはいろいろなバイ菌やウイルスといつも付き合っていなければならないようです。しかし感染して発病する危険性は減らすことができます。発熱やおう吐・下痢で苦ししい思いをする人が出ないように、まずは家庭で、そして学校や職場・地域でそれぞれが予防を心がけましょう。